

(対象期間：2019/11/11～2019/11/15)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2019年11月15日)



【株式市場】

週初は、アジア株式市場の下落が重石となりインド株式市場は小動きとなりました。12日はシク教のナナック生誕日で金融市場は休場でした。13日は取引時間終了後に発表される10月の消費者物価指数（CPI）への警戒感などから下落しました。CPIは市場予想を上回りましたが、14日はショートポジションの巻き戻しなどから上昇しました。翌15日も海外市場の上昇が支援材料となって上昇したことから、週間では上昇となりました。

2019/11/8	2019/11/15	変化率
40,323.61	40,356.69	+0.08%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年11月15日)

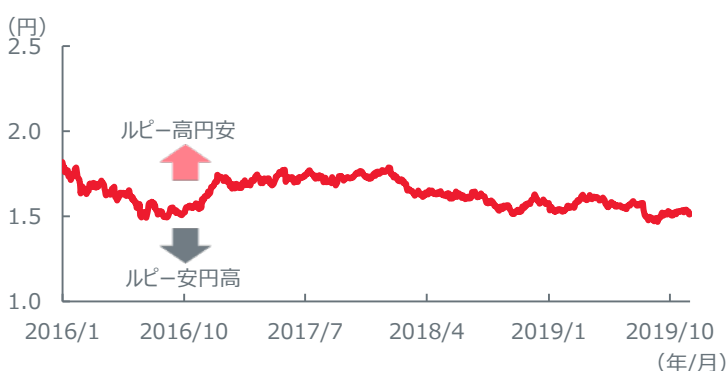


【債券市場】

11日の取引時間終了後に発表された9月の鉱工業生産指数が弱かったことを受けて、翌取引日の13日（12日は休場）は利下げ期待が高まってインド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。13日の取引時間終了後に発表されたCPIは市場予想を上回りましたが、コアCPIは落ち着いているため利下げを妨げるものではないと受け止められ、14日も利回りは低下しました。15日は小動きとなり、週間でも利回りは低下しました。

2019/11/8	2019/11/15	変化幅
6.557	6.524	-0.033

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年11月15日)



【為替市場】

インドの9月の鉱工業生産指数が弱かったことなどからインドの景気減速懸念がくすぶってルピーの重石となり、ルピーは対米ドルで下落しました。一方、円が対米ドルで上昇したことから、ルピーは対円で下落しました。

2019/11/8	2019/11/15	変化率
1.535	1.513	-1.45%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。